

平成27年10月29日

新たな車両安全対策の方向性の検討について

交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会のもとに「技術安全ワーキンググループ」を設置し、新たな車両安全対策の方向性等について検討を行います。

1. 趣旨

政府は、昭和46年以降5年ごとに「交通安全基本計画」を作成し、「人」、「道」、「車」の各側面から交通安全対策を総合的に推進しています。この交通安全基本計画策定にあたり、これまで国土交通省自動車局では「車」の側面からの具体的な目標や対策について、交通安全基本計画の議論を踏まえ検討してきました（※）。

本年度は、第9次交通安全基本計画の最終年、かつ第10次交通安全基本計画の策定年であるとともに、前回技術安全WGの報告書の中間年に当たります。これらを踏まえ本年度、

- 前回技術安全ワーキンググループの報告書の中間レビュー（目標の達成状況等）
- 第10次交通安全基本計画（案）等を踏まえた追加検討
- 車両の安全対策を巡る状況の変化等を踏まえた対策の点検・追加検討（例：少子高齢化の進展、自動運転技術の発展など）

を行い、もって新たな車両安全対策の方向性を明らかにします。

2. 検討体制

国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会のもとに「技術安全ワーキンググループ」を設置し、審議を行います。委員名簿は、別紙1のとおりです。

3. 第1回会議の開催

(1) 日時：2015年11月2日（月）16:00～19:00

(2) 場所：中央合同庁舎第3号館8階国際会議室

※1. 会議は、別紙2の要領で公開とします。

※2. 議事録及び会議資料は、後日、国土交通省ホームページに掲載いたします。

4. 今後の検討スケジュール

来年春頃を目処に結論を得る予定です。

（お問い合わせ先）

国土交通省自動車局技術政策課 村井、山村、河野

代表：03-5253-8111（内線42256） 直通：03-5253-8591

FAX：03-5253-1639

※第9次交通安全基本計画策定の際には、交通政策審議会の下に「技術安全ワーキンググループ」を設置し報告書を取りまとめ、以後、同報告に基づく対策等を実施しているところです。

交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会
技術安全ワーキンググループ 委員名簿

(敬称略)

【委員長】

鎌田 実 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

【委員】(五十音順)

稲垣 敏之 筑波大学副学長・理事

岩貞 るみこ モータージャーナリスト

宇治橋 貞幸 日本文理大学特任教授

春日 伸予 芝浦工業大学工学部教授

下谷内 富士子 (公社) 全国消費生活相談員協会顧問

竹内 健蔵 東京女子大学現代教養学部国際社会学科経済学専攻教授

永峰 好美 読売新聞東京本社編集委員

益子 邦洋 南多摩病院院長

水野 幸治 名古屋大学大学院工学研究科教授

水間 毅 (独) 交通安全環境研究所理事

交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会
技術安全ワーキンググループへの傍聴希望について

1. 本会議は原則として公開します。

傍聴ご希望の場合は、所属、氏名、電話番号を記載のうえ、「技術安全ワーキンググループ傍聴希望」と明記し、電子メール（宛先：yamamura-s2zh@mlit.go.jp 及び kohno-m23u@mlit.go.jp）またはFAX（宛先：03-5253-1639）にて、それぞれの宛先に11月2日（月）12時迄にご連絡下さい。

なお、座席数に限りがございますので、傍聴をお断りさせていただく場合がございますことをあらかじめご了承ください。

2. カメラ撮りは冒頭のみ可能。また、携帯電話等の呼び出し音のスイッチは必ず切っておいて下さい。

3. 会議資料については、当日配布します。

4. 開催日時及び場所

(1) 日 時：2015年11月2日（月）16:00～19:00

(2) 場 所：中央合同庁舎第3号館8階国際会議室